



町政座談会 を 開催

教育・子育て

Q 学校の教室にクーラーを設置すべきでは？

A 図書室や保健室、ランチルームなど設置している教室もある。学校や教育委員、保護者の意見を聞きながら検討したい。

Q 飯南高校の魅力化について、施策がマンネリ化していないか？

A 今年度から、教育魅力化推進員を配置し、高校だけではなく町全体や地域も含めた魅力化に取り組んでいる。まずは、町内の中学校の生徒に飯南高校に進学してもらうことが大切。ふると学習等で町の教育の魅力化を進める。

また、保育所の段階から一家庭で移り住む「教育移住」を進めるために、今年から、保育所の子どもたちが飯南町の自然に触れる「森の保育所」を始めた。

ホストファミリー制度は、保護者の安心感や、子どもたちにとっても田舎ならではの体験ができる良い機会になっている。魅力化は高校だけでなく、皆さんと知恵を絞りながらやっていかなければならないと考えている。

Q 全国学力調査で島根県はほとんどが平均点を下回っている。

地域づくり

Q どのように10年後のリーダーを育てていけばいいのか。町としてどのように進めるのか？

A 将来、笑顔で暮らせる地域をどうやって維持していくのか、地域でどんな人材が必要かなどのことを、集落実態調査の結果などを活用して、皆さんと一緒に考えたい。

Q 10年、20年後に、子どもたちが帰って来たいと思う町、地域にしたいと思いませんか？

A 地域、町全体で子どもたちを育て、魅力のある町にしたい。

くことが大切。町もしっかりと支援していく。

Q 志々支所に、集落支援員や小さな拠点づくり支援員を配置していただき、心強く思っている。今後もこの体制を維持してほしい。

私たちは、「わつしよい志々会」を組織して活動を続けている。今後も、積極的に地域活性化に取り組みたい。財政的な支援をお願いしたい。

A 集落実態調査の中で、それぞれの地域の将来をみんなで考え、町の総合戦略に取り入れていきたい。志々地区は地域づくりの先進地。引き続き支援していく。

7月から8月にかけて、町内5会場で座談会を開催し、178人の町民の皆さんの参加がありました。今年「町の人口動態」「人口減少対策と効果」「集落実態調査」「避難行動・土砂災害特別警戒区域」について説明しました。主なご意見と町の回答を紹介します。

(Q…質問、A…回答)

農業

Q 森林環境譲与税の使いみちは？

A 現在、譲与税の対象となる山林と森林所有者を調査している。適正な管理をしていただく。適切な管理をすることで、価値のある山に再生していきたい。

行政運営

Q しっかりとした財政基盤をつくってほしい。

A 町債の繰上償還や維持管理する公共施設数を絞っていく必要がある。将来も安心して暮らせるように、健全な財政運営に努める。

Q 施設利用の無料はありがたいが、住民の負担も必要では？

A 公共施設の在り方について、検討を始めている。議員、町民の皆さんに意見をいただき、適正な公共施設の運営を考えたい。

Q 町の配布物が多すぎる。

A 情報を広報誌にまとめるように努力はしている。ただ、情報をテレビで放送しただけでは皆さんに伝わらないこともある。そこはご理解いただきたい。

防災

Q 避難時に使用する食料や毛布などは、どの施設にあるのか？

A 保健福祉センター、さつき会館、来島基幹集落センター、飯南町役場(赤色の4カ所に準備している)。

Q 避難行動要支援者の避難体制は？

A 要支援者それぞれの避難計画の策定を進めているところ。

Q 避難行動要支援者の名簿や情報を、町と自治区長・自治会長・組長で共有し連携できないか？

A 現在は、有事のときに共有することとしている。個人情報保護法に基づいて管理すること、自治区や防災士とも協議したい。

Q 防災行政無線の屋外スピーカーを増設できないか？

A 昨年の防災訓練の際に、避難施設で聞こえない場所を把握している。検討させていただきたい。

Q 災害時に、行政としてのどのような方法で速やかに避難してもらうように考えているのか？

A 一人一人が、災害時にどう

行動すれば良いかを、常に考えておくことが大切。町としても、防災士の養成や防災訓練、研修会等で、理解を深めていただくような啓発を行っていく。

Q 4月の地震の際、学校の危機管理が不十分だと感じた。

A 地震による影響を町道のみ安全確認し、児童・生徒を登校させてしまった。その反省を生かし、現在は、施設や通学路、スクールバスの運行など、安全を確認し、保護者と連絡を取りながら、児童・生徒を登校させるようにしている。

危機管理体制を整備し、学校と連携をとって子どもたちの安全を確保する。

出会うの場

Q 町内の若い独身男女の出会うの場をつくってほしい。

A 専任職員を配置し、町内外で情報交換をしながら進めている。「縁結びサポーター」も募集している。ぜひ縁結びに力を貸していただきたい。

公共施設

Q 来島拠点複合施設の、本年度の計画を教えてください。

A 測量設計が終わり次第、説明会を開催して、造成工事を出発したい。造成は年度内完了の予定。用地買収や登記などに時間を要し、当初の計画より若干遅れているが、詳細な日程は、自治区長などを通じて説明する。

Q 来島拠点複合施設の造成高さが2.5mから1mに変更されたというが、

A 大きな建物なので、周囲の環境を保つことなどから、造成高さは1mということ。検討委員会でも説明した。今後、住民の皆さんに不安のないように説明

し進めていきたい。

Q 旧頓原庁舎跡地の活用は？

A 夏祭り等が開催できる広場としての整備を計画している。

Q ごみの回収ボックスまで、ごみを出しに行くのが大変だ。女性や高齢者に配慮してほしい。

A 増設や場所移動など、自治区長と相談しながら検討したい。

公共交通

Q 赤名・頓原間の備北交通の運行がなくなった。利用者がいないから無くすのではなく、バスを残すことを考えてほしい。

A 利用客の減少や運営会社の運営体制の中でこのような運行形態となった。町営バスを備北交通と接続させ、三次方面まで利用できるようにしているが、利便性の向上を図りつつ、継

続的に運行できる町の公共交通にしていきたい。

Q デマンドバスの利用状況は？

A 昨年10月から今年3月まで月平均で赤来190人、頓原302人。今年4月から7月26日までが、月平均で赤来、頓原ともに239人となっている。

季節、地域によって利用形態に違いもあると思うので、分析し、ニーズを吸い上げて今後活かしていきたい。